

ハードウェアとソフトウェアのシステム要件

以下は、ERDAS IMAGINE 2010およびLPS 2010 を動作させるための最低限必要なスペックです。

プロセッサ	<ul style="list-style-type: none"> 32-bit: Intel Pentium 4、または100% 互換性を有するCPU、2.4 GHz 以上 64-bit: Intel 64 (EM64T)、AMD 64、または100% 互換性を有するCPU、2.4 GHz以上 デュアルコア、クアッドコア、またはそれ以上を推奨
メモリ (RAM)	2 GB 以上
ハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> 3 GB: 全ソフトウェアのインストール 7 GB: 全サンプルデータのインストール 必要な空きスペースはプロジェクトにより異なります¹
OS	ERDAS IMAGINE と LPS 2010 <ul style="list-style-type: none"> Windows Vista x32 SP2 以上、Business、Enterprise & Ultimate Windows XP Professional x32²、および x64 SP3 以上 ERDAS IMAGINE 2010 (上記以外でサポート可能) ³ <ul style="list-style-type: none"> Windows 7 x32、および x64 Professional & Ultimate Windows Vista x64 SP2 以上、Business、Enterprise & Ultimate Windows Server 2008 x32、および x64 SP2 以上
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> OpenGL 1.1 以上が必要: IMAGINE VirtualGIS[®]、ImageDrape、LPS Terrain Editor、LPS Stereo Point Measurement、Stereo Analyst[™] for ERDAS IMAGINE。対応するグラフィックカード⁴用に Microsoft Windows は OpenGL driver を提供 Adobe Acrobat Reader 7 以上 JavaScript 機能付 Internet Explorer 6、またはそれ以上、あるいは JavaScript 機能付 Firefox 2、またはそれ以上 ERDAS IMAGINE、LPS 2010 と同時に Java Runtime 1.6.0.6 がインストールされます Microsoft DirectX 9c、またはそれ以上
ディスプレイ	2D、Perspective、および Anaglyph ディスプレイ: <ul style="list-style-type: none"> 分解能は1024 X 768 X 32 以上を推奨 最新のグラフィックカードを推奨 ステレオディスプレイ・グラフィックカード ⁵ : <ul style="list-style-type: none"> NVIDIA Quadro FX 4600 (推奨) NVIDIA Quadro FX 4500 (推奨) NVIDIA Quadro FX 3450/4000 NVIDIA Quadro FX 3500 ステレオディスプレイ・モニター: <ul style="list-style-type: none"> Planar SD 3D/ステレオディスプレイ NVIDIA GeoForce 3D Vision Kit⁶ 付 120 Hz LCD モニター True3Di ステレオ・モニター(19" はテスト済) RealD (従来のステレオグラフィック) CrystalEyes RealD Monitor ZScreen

<p>周辺機器</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ソフトインストール用DVD ドライブ ● Microsoft Windows 互換マウス(スクロール・ホイール付を推奨) ● Microsoft Windows をサポートする印刷機器⁷ <p>ライセンス管理上、次のうちの1つが必須:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● TCP/IP 対応イーサネットカード、または ● ハードウェアキー用USB ポートx1、または ● ハードウェアキー用標準 (DB25) パラレルポートx1 <p>以下のハンドコントローラでより効率的なデータ収集が可能:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Topomouse™、または Topomouse USB™ ● Immersion 3D Mouse ● Mouse-Trak ● Stealth 3D (Immersion)、シリアルポート、USB 対応 ● Stealth Z、シリアルポート、USB 対応 ● EK2000 Hand Wheels ● EMSEN Hand Wheels
<p>ArcGIS との互換性</p>	<p>ERDAS IMAGINE と LPS 2010 は ArcGIS 9.2 または 9.3 と同じコンピュータにインストールすることができます。</p> <p>ERDAS IMAGINE、LPS 2010 の Geodatabase Support について:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ArcGIS versions 9.2/9.3 のインストール、または ● IMAGINE Geodatabase Support のインストール(別途 ArcGIS のライセンスは不要)⁸

1. 一般的にディスク I/O はデータ処理速度に影響しますので、高速処理を行うハードディスクを使えば作業効率が上がります。SCSI ハードディスクは SATA/IDE ドライブより高速です。フラッシュドライブ(SSD)ではアクセス時間は速くなりますが、保持率は通常のスピンドル・ハードディスクより遅くなります。ディスク・アレイで性能は向上しますが、特定のRAID では速度が遅くなる場合もあります。
2. Microsoft Windows XP x32 ではファイルサイズに制限があります。システム構成にもよりますが、最大70GB程度です。他のOS ではそのような制限はありません。
3. ERDAS IMAGINE と LPS の対応OSが異なる場合があるのは、LPS ではステレオ表示の要件を満たしている必要があるためです。
4. Microsoft Windows ではサポートする全てのグラフィックカード用の OpenGL ドライバーを提供していますが、最適化されたグラフィックカードとドライバーの使用をお勧めします。
5. 3Dステレオ表示にはステレオ対応のグラフィックカードが必要です。カードは全てのコンピュータに対応しているわけではありませんので、お手持ちのグラフィックカードが使用するコンピュータに対応していることを必ず確認してください。
6. NVIDIA GeoForce 3D Vision Kit 付き120 Hz LCD モニターを使用する場合、191.00 3D Vision USB ドライバーが必要となります。
7. HP-RTL ドライバーを推奨します。Windows x64 から印刷する場合、プリントサーバには64-bit プリントドライバーが必要です。
8. Geodatabase Support は ArcGIS Engine 9.3.1170.0 を使用して設計されました。

ご注意

以上の条件が変更される場合もありますので、最新の情報につきましては弊社のホームページでご確認ください：
<http://erdas.lgkk.jp>